学校番号	３１７

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史Ｂ　（山川出版社）						
副教材等	詳説日本史図録（山川出版社）　　詳説日本史 10 分間テスト（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・原始から現代までを通して、歴史の流れの大きな概観をつかむ。
・各時代の大きな出来事を、相互に関連づけながら理解する。
・日本史の学習を通して、現代の日本と日本人の課題や、あるべき姿を考える。

2　学習の到達目標

・日本史の多様な資料を精読することにより、歴史的な思考力を培う。
・いまの時代におこるさまざまな出来事を、過去に起こった事象と結び付け、歴史的な視点から考察することができる。
・日本の歴史を学習することにより、日本独自の文化や伝統を背景に、世界の中での日本と日本人の資質やあるべき理想の姿を、自分なりの価値観に基づいて構築することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	原始から現代までの日本の歴史に関する関心を高め、意欲的・能動的に探求する態度を培い、それを通して世界の中での日本人のあるべき姿を考える。	各時代の概観を深く思考し、現代日本のさまざまな課題を歴史的観点から、過去にさかのぼって考察し、その過程や結果を適切に理解し、表現できている。	原始から現代までの日本の歴史に関する資料に触れ、有用な情報を選択している。またそれを自分なりにまとめ活用している。	原始から現代までの日本の歴史についての基本的な知識を身につけ、その相互の連を理解している。
評価方法	受講状況 提出物の点検	提出物の点検 定期考査	提出物の点検 定期考査	提出物の点検 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	原始・古代、飛鳥朝、律令制、平安の貴族政治、院政、鎌倉幕府の成立、南北朝、室町幕府、戦国大名	・農耕文化の始まり ・古墳とヤマト政権、飛鳥の朝廷 ・律令国家の形成と平城京の時代　天平文化 ・平安朝廷の形成 ・摂関政治　国風文化 ・院政と平氏の台頭	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	a 原始時代から平安朝に至るながれを意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。大和政権成立の過程ににについて、多面的かつ多角的に思考・考察し、その過程や結果を適切に表現している。 b 天平文化について関連する諸資料を収集し、自分なりの視点で選択して系統的にまとめて要約し、整理している。平安朝廷について、歴史的な視点で過去と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 c 藤原氏による摂関政治から鎌倉幕府成立までに関心を持ち、表から流れを理解しようとしている。。 d 院政について、多面的かつ多角的に思考・考察し、その過程や結果を適切に表現している。	出欠状況および受講状況の確認 質疑応答等 提出物の点検 定期考査
1学期期末		・鎌倉幕府の成立 ・鎌倉文化 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭　室町文化 ・戦国大名の台頭	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	a 鎌倉幕府の成立について関連する諸資料を収集し、自分なりの視点で選択して系統的にまとめて要約し、整理している。鎌倉文化について、政治制度と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 b 室町幕府の成立から戦国大名の出現までのながれを意欲的に考察している。 c 室町幕府の衰退過程について、多面的かつ多角的に思考・考察し、その過程や結果を適切に表現している。 d 戦国大名について関連する諸資料を収集し、自分なりの視点で選択して系統的にまとめて要約し、整理している。戦国大名の台頭について、歴史的な視点で過去と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	出欠状況および受講状況の確認 質疑応答等 提出物の点検 定期考査

2学期中間	江戸幕府の成立と発展	・織豊政権の成立 ・安土桃山文化と織豊期の経済発展 ・幕藩体制の成立	○ ○ ○	○	○	○	a織豊政権から幕藩体制成立までの過程について意欲的に考察している。 b織豊政権の成立について多面的かつ多角的に思考・考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 安土桃山文化について関連する諸資料を収集し、自分なりの視点で選択して系統的にまとめて要約し、整理している。 d 江戸幕府の成立過程について歴史的な視点で過去と関連付け理解しその知識を身に付けている。	出欠状況および受講状況の確認 質疑応答等 提出物の点検 定期考査
2学期期末	幕藩体制の動揺、化政文化	・幕藩体制の動揺 ・化政文化	○ ○	○	○	○	a幕藩体制の動揺の実態、化政文化について関心をもって探求しようとしている。 b幕藩体制が揺らいだ原因について多面的かつ多角的に思考・考察しその過程や結果を適切に表現している。 c 化政文化について関連する諸資料を収集し、自分なりの視点で選択して系統的にまとめて要約し、整理している。 d江戸幕府の衰退過程について歴史的視点で過去と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	出欠状況および受講状況の確認 質疑応答等 提出物の点検 定期考査
3学期	近現代	・近代国家の成立 ・二つの世界大戦とアジア ・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a 現代国家の成立過程を近代から結びついていることを理解しようとしている b 二つの世界大戦がどのようにその後の国家形成に影響したかを適切に表現している。 c ＧＨＱが日本に与えた影響を資料を用いて理解する。 d 現代国家の成立過程を近代から遡って理解する。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。